

所属	人文学部 人文学科	職名	准教授	フリガナ	マストシノブ	生年月	1970年2月27日
氏名		増本利信		学位	修士(作業療法学)	専門分野	特別支援教育 臨床発達心理学
最終学歴	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科						
担当科目	フレッシュマンゼミ。人間と障害、心理臨床学の基礎、発達障害者教育総論(心理等)、発達障害者教育総論(教育課程等)、知的障害者の心理・生理・病理Ⅰ、知的障害者教育総論Ⅰ、特別支援学校教育実習Ⅰ(事前・事後指導)、特別支援学校教育実習Ⅱ、特別研究、卒業研究						
所属学会	日本LD学会 日本発達性協調運動障害学会、日本児童青年精神医学会、視覚発達支援研究会、日本臨床発達心理士会 日本K-ABCアセスメント学会 日本感覚統合学会						
I 教育活動							
教育実践上の主な業績				年月日		概要	
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)				平成29年～		<p>長崎県の小児療育に携わる作業療法士の学習会において、インターネット会議室機能を用いて、県内20カ所を結んでの講義を行った。</p> <p>長崎大学子ども心医療教育センター 職業実践力育成プログラム講師として、「小学校における特別支援教育」「個別の教育支援計画と指導計画」「通級による指導の実際」「視覚認知と支援」についてe-learningプログラムを作成し配信した。</p>	
2 作成した教科書、教材、参考書						<p>現職教員に対する研修会において下記の教材を用いた講義を行っている。</p> <p>「発達障害概論」 発達障害の特徴と児童の困りやすいポイントについて疑似体験を用いて整理する。</p> <p>「発達障害アセスメント概論」 発達障害の特徴と、必要なアセスメントの種類について整理し、それぞれの検査法を解説する。</p> <p>「行動分析学概論」 行動を操作する先行条件と結果条件について整理し、適切な行動を引き起こすための環境設定</p>	

「見る力」を育てるビジョンアセスメント WAVES  
開発協力者

長崎大学子どもどころ医療・教育センター e-  
Learning 「発達障害のある子どもの周りへのアプ  
ローチ」

平成 26 年 9 月

令和 2 年 5 月

や、事後のフィードバックが重要であることを整理する。

「就学前の幼児への関わり、発達症の早期発見のために」

吃音症、チック症、発達性協調運動症、学習症など就学前に見られる兆候と園でできる支援のあり方について整理する。

「視覚発達支援概論」

読み書きの困難な児童に散見される視覚機能の弱さについて整理し、具体的な支援のあり方を整理する。

「特別支援教育コーディネーターの職務について」

校内のリソースを有効に活用し、学校全体の支援体制を高めるための適切なコーディネートについて整理する。

「連携体制のあり方」

学校を取り巻く医療機関や福祉機関との連携の重要さと、そのために留意すべきことについて整理する。

「学校不適応を予防するために」

入室しぶりや登校しぶりを呈する児童生徒の理解と、適切な支援のあり方について、事例を通して整理する。

児童の眼球運動や視覚認知機能を集団、個別に評価を行うことができる「Wide-range Assessment of Vision-related Essential Skills」の開発に携わった。また標準化調査に協力した。

通常学級における発達障害のある児童を取り巻く学級児童への指導のあり方について説明を行った。

<p>ジャパンライム発達支 DVD[「発達障害の子どもにおけるビジョントレーニングと学習支援」]</p> <p>くまもと県民カレッジ「輝く個性③学習症と発達性協調運動症」</p> <p>「WISC-V 知能検査」標準化協力</p> <p>長崎県雲仙市メディア安全教育講演会「学びの困難さのあり児童生徒への支援について」</p>	<p>令和2年8月</p> <p>令和2年12月</p> <p>令和4年2月</p> <p>令和4年2月</p>	<p>個別支援の場におけるビジョントレーニングの具体について説明し映像教材が作成された。</p> <p>熊本県民を対象としたe-learning教材を作成しWeb公開された。</p> <p>日本版WISC-V知能検査開発に伴う標準化調査に協力し出版された。</p> <p>雲仙市のPTA及び学校教員が視聴し活用する映像教材を作成した。</p>			
<p>3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等</p>					
<p>4 その他教育活動上特記すべき事項</p> <p>LD-SKAIP アセスメント研修委員</p> <p>長崎県特別支援教育指導員</p> <p>日本版 WISC-V 標準化調査員</p> <p>国立特別支援教育総合研究所1期専門研修（発達障害）受講</p> <p>熊本市就学支援委員会委員（専門家）</p> <p>熊本県障害児審査委員会委員</p> <p>教員免許更新講習講師</p>	<p>平成30年度から</p> <p>平成26年度から29年度</p> <p>平成30年度から</p> <p>平成30年5月から7月</p> <p>令和2年から</p> <p>令和3年から</p> <p>令和2年から</p>	<p>文科省に助成を受けて作成されたLD-SKAIPアセスメントについて研修講師として啓発を進めている。</p> <p>長崎県教育委員会より任命され、県内の各学校を巡回し、特別支援教育体制の構築、軽度の知的障害があったり、学習障害のために読み書きに困難さがあったりする児童の支援に対するスーパーバイズを行なった。</p> <p>日本版WISC-V標準化に関する業務に従事している。</p> <p>国立特別支援教育総合研究所において、発達障害に関する専門研修を受講した。</p> <p>自閉・情緒部会の専門家委員として審議に参加している。</p> <p>重度障害児の障害の程度の審査について審議に参加している。</p> <p>発達障害児の認知の特徴について心理的擬似体験を中心とした講座を担当している。</p>			
<p>II 研究活動</p>					
<p>著書・論文等の名称</p>	<p>単著・共著の別</p>	<p>発行又は発表の年月日</p>	<p>発行所又は発表雑誌等の名称（巻・号数を含む）</p>	<p>編者・著者名（共著の場合のみ記入）</p>	<p>該当ページ数</p>

1 著書

通級指導教室の教育課程の4領域と具体的な指導方法

共著

平成21年11月

「小・中特別支援教育コーディネーターのための実践・新学習指導要領」  
教育開発研究所

編著者 柘植雅義  
著者 梶田叡一・緒方美加子・渡部国隆・大杉成喜・徳永豊・成田滋・樋口一宗・銀屋伸之・古川勝也・花輪敏雄・河村久・笹山龍太郎・小松晃子・片岡和香・堀部要子・梅田真理・島治伸・田中容子・酒井均・萩原規彦・藤本裕人・楠原薫・奥田健次・橋詰和也・雑賀美恵子・山本品子・上野博史・杉山浩隆・鎌塚優子・内田治・中嶋祥子・柴田寿代・西島幸代・篠崎広之・井上信臣・稲葉英彦・伊藤剛・西島真美・川井弘子・杉本浩美・米澤基宏・高田敬子・尾崎朱・山本公司・近藤肖国・荒木浩・松田孝可子・中川喜乃久・増本利信・星井純子・飯島知子・岡本美奈子・田畑香澄・鳴海正也・大久保以久子・矢田勝・服部健治・清水直志・中山厚子

pp.155-156

<p>登校しぶりの背景にある「見えない障害」</p>	<p>共著</p>	<p>平成 24 年 10 月</p>	<p>「ズバッと解決ファイ ル NEXT LEVEL」 金子書房</p>	<p>編著者 阿部利彦 著者 増本利信・川上康則・今井正司・坂本條樹・藤野博・安部雅昭・霜田浩信・古屋雅康・大石幸二・川村桂子</p>	<p>pp.8-14</p>
<p>学級でできるビジョントレーニング</p>	<p>共著</p>	<p>平成 24 年 10 月</p>	<p>「ズバッと解決ファイ ル NEXT LEVEL」 金子書房</p>	<p>編著者 阿部利彦 著者 増本利信・川上康則・今井正司・坂本條樹・藤野博・安部雅昭・霜田浩信・古屋雅康・大石幸二・川村桂子</p>	<p>pp.136-147</p>
<p>教室環境準備のワザ/座席配置/休み時間ルール のワザ / 「これでいいの？」と立ち止まるワザ/他の子のじゃまをする子/世話を焼きすぎる子/通級担当教員からのアドバイス ー小学校</p>	<p>共著</p>	<p>平成 25 年 3 月</p>	<p>「気になる子への支援のワザ」 教育開発研究所</p>	<p>編著者 曾山和彦 著者 清水直志・近藤肖国・永見佐由美・尾崎朱・増本利信・鳴海正也・沢田知恵・米澤基宏・岸田優代・佐藤さゆり・竹内由子・本島亜矢子・西村美華子</p>	<p>pp.20, 88, 92, 114, 118, 120, 122</p>
<p>見る力を高めることで支える子どもの学び</p>	<p>共著</p>	<p>平成 28 年 1 月</p>	<p>「全国の特徴ある 30 校の実践事例集 通級による指導編」 ジアース教育新社</p>	<p>編著者 柘植雅義・小林玄・飯島知子・鳴海正也 著者 下村治・藤本優子・吉田英生・栗原秀人・今西満子・雑賀美恵子・日野久美子・中山由美子・高島佳恵・細砂知子・岡田克己・古田島</p>	<p>pp.138-143</p>

<p>ビジョントレーニングを用いた「見ること」への支援</p>	<p>共著</p>	<p>平成 29 年 7 月</p>	<p>「決定版！授業のユニバーサルデザインと合理的配慮」 金子書房</p>	<p>恵津子・夏目徹也・黒須真希・斎藤代一・増本利信・近藤幸男・武重朋子・佐藤悟・富永由紀子・石川誠・横原昇司・相川賢樹・大本市郎・山下公司・飯島知子・矢田勝・手束裕子・野口純子 編著者 阿部利彦 著者 田中康雄・樋口一宗・廣瀬由美子・久本卓人・桂聖・伊藤幹哲・村田辰明・綾部敏信・平野次郎・清水由・吉見和弘・田中弘・小貫悟・川上康則・藤堂栄子・上条大志・森亜矢子・霜田浩信・坂本條樹・増本利信・上原淑枝・山中徳子・大石幸二・松久眞実・片岡寛仁・倉本憲一・堀内祐子・小林みやび</p>	<p>pp.132-136</p>
<p>2 論文 コーディネーターとして支える子どもの学び:特別支援教育コーディネーターとして私が成長した事例研究</p>		<p>平成 24 年 12 月</p>	<p>「児童心理」 第 66 巻第 18 号</p>		<p>pp.111-115</p>

もしも登校渋りの背景に「見えない障害」があったら？		平成 23 年 6 月	「児童心理」 第 65 巻第 8 号		pp116-122
学校不適応を予防するために学校現場における具体的支援		平成 27 年 11 月	「小児保健研究」 第 74 巻 第 6 号		pp.790-796
読み書きや集団参加の困難さを支えるために～LD 通級指導教室の効果的な運用を考える～		平成 29 年 3 月	「長崎教育」 第 16 号		pp.53-57
知的発達グレーゾーンに位置し、自閉スペクトラム症も示唆される、入室渋り児童に対する、般性強化刺激を活用した支援の実践		令和元年 8 月	奈良学園大学ジャーナル「人間教育」 第 2 巻第 7 号	増本利信・岡野由美子	pp.165-173
強度行動障害児・者等の自傷行為への対応ーアンケート調査を通してー	共著	令和元年	日本発達系作業療学会誌第 7 巻第 1 号	川中瑞帆・宮崎文佳・徳永瑛子・増本利信・岩永竜一郎	pp.19-27
読み困難児の眼球運動と読字能力・認知機能の関係について	共著	令和 3 年 3 月	「心理・教育・福祉研究」第 20 号	増本利信・川中瑞帆・岩永竜一郎	pp.33-42
3 その他					

### III 社会的活動

年月日	委員、講演テーマ・研修会、賞・表彰等の名称	所属、委託団体、授与機関等の名称
1 職務専念義務免除による活動		
2 公開講座、講演、研究会活動 令和元年 12 月 17 日	問題行動の頻発する生徒に対する理解を深めるために、疑似体験を通じた生徒理解のための研修を行った。	長崎市立岩屋中学校 職員研修

令和元年12月7日	学習障害の機序と具体的な支援のあり方について整理した。 また軽度の知的障害のある児童への対応のあり方についても内容に含めた。	NPO 法人チャイルドハート職員研修会
令和元年11月27日	児童発達支援事業と放課後等ディサービスを行っている本事業所において、学習障害の機序と具体的な支援のあり方について整理した。	佐賀県 NPO 法人それいゆ職員研修会
令和元年11月22日	児童発達支援事業と放課後等ディサービスを行っている本事業所において、発達症の理解を目的とした講話を疑似体験を含めて行った。	川棚慈光園公開研修会
令和元年11月7日	PTA 主催の保護者と教師向けに、発達症の理解を目的とした講話を疑似体験を含めて行った。	長与町立洗切小学校 PTA 研修会
令和元年11月2日	通級指導教室に関する最新情報について、学校におけるより効果的な活用の仕方など具体的な指導のあり方を含めて整理して、講義を行った。	大阪医科大学 LD センター公開講座
令和元年10月10日	1年生の保護者を対象として、出生児から幼児期、児童期への子供達の成長と変化について、「発達」の視点から整理をして、疑似体験を含めながら講話を行った。	千綿小学校1年生保護者会
令和元年9月19日	長崎県内で療育に携わっている広範囲な職域の参加者に対して、学習障害の機序や支援のあり方について整理して講話を行った。	長崎語ろう会
令和元年9月18日	算数障害の機序と、具体的な支援のあり方について、自己の授業動画をもとに解説を加えながら講話を行った。	千綿小学校校内研修会
令和元年8月30日	発達症の理解について、全教職員を対象に職員研修会を実施した。ワークショップ形式で疑似体験と対話を通じた研修を行った。	千綿小学校職員研修会
令和元年8月27日	自立活動の項目を整理して説明するとともに、新学習指導要領においてどのように記載が充実したかを確認した。また、知的障害児童に対する支援の具体例を紹介し質疑応答を行なった。	佐賀県伊万里市西有田地区特別支援教育研修会
令和元年8月27日	発達症の理解について、全教職員を対象に職員研修会を実施した。ワークショップ形式で疑似体験	.伊万里市立伊万里小学校職員研修



	と対話を通した研修を行った。	
令和元年8月25日	特別支援教育士資格を取得するためのセミナーにおいて、小中学校における特別支援教育コーディネーターの役割や効果的な取り組みについて講義を行った。	特別支援教育士養成セミナー
令和元年8月21日	発達症の理解について、全教職員を対象に職員研修会を実施した。ワークショップ形式で疑似体験と対話を通した研修を行った。	佐世保市立赤崎小学校校内研修
令和元年8月19日	視覚発達支援の重要性について、ビジョントレーニングの視点から具体例を含めた講話を行った。	埼玉県 NPO 法人チューリップ元気の会 公開研修会
令和元年8月18日	「改めて問う。学習とビジョン」という演題で、学校におけるビジョントレーニングの実際について、研究結果をもとに話題提供を行った。	視覚発達研究会第14回大会 大会企画シンポジウム
令和元年8月7日	佐世保市内の通級指導教室と支援学級担当者50名に対して、校内外の連携のあり方について整理して説明を行った。	佐世保市特別支援教育担当者研修会
令和元年8月5日	佐賀県内の小中高支援学校の教員120名に対して、読み書きの苦手さのある子どもの状態を理解し、適切な支援のあり方について疑似体験を交えたワークショップ形式で講話を行った。	佐賀県教育センター研修
令和元年8月3日	放課後等デイサービスの指導者や地域の教員80名に対して、知的発達がゆっくりであったり読み書きの苦手さがあつたりする子どもの状態を理解し、適切な支援のあり方について疑似体験を交えたワークショップ形式で講話を行った。	福島県南相馬市かんの公開研修会
令和元年8月1日	特別支援教育士の有資格者を中心とした教員に対して、視覚機能の困難さから学習不応を起している子どもの実態と指導のあり方について講話を行った。	特別支援教育士秋田支部研修会
令和元年7月31日	大村市内の特別支援教育コーディネーターと虹の原支援学校教諭250名に対して。読み書きの苦手さのある子どもの状態を理解し、適切な支援のあり方について疑似体験を交えたワークショップ形式で講話を行った。	大村市特別支援教育コーディネーター研修会

令和元年7月20日	佐賀県内の特別支援教育士有資格者 30 名に対して、視覚認知の特性の整理と、視覚機能アセスメントである WAVES の検査法と解釈について講義を行った。	特別支援教育士佐賀支部研修会
令和元年7月9日	大村共立病院の小児科医や心理士などの医療従事者に対して、小学校で行なっているビジョントレーニングの実際について、全校を対象としたもの、学級で行ったもの、個別指導で行ったものについて整理し講話を行った。	大村共立病院カメラリア児童思春期臨床研修会
令和元年6月28日	東彼杵町内の特別支援教育コーディネーターと行政担当者に対して、校外の連携のあり方について整理して説明を行った。	東彼杵町特別支援教育コーディネーター研修会
令和2年8月6日	長崎玉成高等学校・附属中学校の教職員に対して LD の理解と支援について講話を行った。	長崎玉成高校職員研修会
令和2年8月25日	ADHD/LD に関する支援のあり方について、佐賀県の放課後等ディサービス職員に対して講話を行った。	NPO 法人それいゆ職員研修会
令和2年11月26日	中高生の心身の発達と支援のあり方について講話を行った。	九州ルーテル学院中学・高校人権研修会
令和2年11月21日 22日	学力のアセスメント及びコーディネーターの役割とリソースの活用について特別支援教育士養成セミナーにおいて講師を務めた。	特別支援教育士養成セミナー
令和2年12月6日	ビジョントレーニングの実際をテーマとしてオンライン講演を行った。	ジャパンタイム主催セミナー
令和3年1月5日	発達障害の子どもの指導支援について佐賀県内の教員を対象として講話を行った。	佐賀県金立支援学校主催公開講座
令和3年1月11日	発達障害の方が暮らしやすい地域づくりについて、教師の立場からの講話を行った。	長崎県発達障害者支援センターしおさいセミナー
令和3年2月10日	学校における特別支援教育のあり方をテーマに網田小中学校の教職員対象の校内研修で講師を務めた。	宇土市立網田小中学校校内研修
令和3年2月18日	日々の関わりステップアップ計画をテーマに、通級指導教室を利用している保護者を対象として講話を行った。	くろかみ教室親の会主催講演会
令和3年3月13日	読み書きに困難があるお子さんへの関わりとは？という演題で長崎県内の支援者を対象とした講話を行った。	NPO 法人全国ゆめ未来支援協会プロジェクト

令和3年3月14日	発達性協調運動症の理解と支援について宮城県と福島県の特別支援教育士を対象として講話を行った。	特別支援教育士宮城支部学習会
令和3年4月24日	学校全体で取り組む特別支援教育をテーマに北海道の教職員を対象とした講話を行った。	北海道学校教育相談研究会研修会
令和3年4月25日	子どもの学び方の見立てと具体的な支援について熊本県内の特別支援教育士を対象とした講話を行った	特別支援教育士熊本支部会研修会
令和3年8月2日	通級指導教室における指導のあり方について、熊本市内の通級指導教室担当者に対して講話を行なった。	熊本市教育委員会
令和3年8月8日	不器用さのある幼児児童への対応について、長崎県佐世保市において保護者主催の研修会において講話を行なった。	虹色サロン
令和3年8月19日	通常の学級における発達障害児への支援のあり方について、校内研修会において講話を行なった。	熊本県菊池市立泗水小学校
令和3年8月20日	発達障害者への支援のあり方について、名古屋市の教員に対して講話を行なった。	名古屋市教育会
令和3年8月24日	通級指導教室における具体的な支援のあり方について、熊本市内の通級担当者を対象とした研修会にて講話を行なった。	熊本市教育委員会
令和3年8月27日	通常学級における発達障害のある児童生徒に対する指導のあり方について、佐世保市内の教員を対象とした研修会において講話を行なった。	佐世保市教育委員会
令和3年9月13日	通常学級における発達障害のある児童生徒に対する指導のあり方について、校内研修会で教員対象に講話を行なった。	熊本市立黒髪小学校
令和3年10月31日	言語聴覚士と学校の適切な連携のあり方について、言語聴覚士対象の全国研修会において講話を行なった。	子供の発達支援を考える ST の会
令和3年11月19日	発達に偏りのある幼児児童の理解と具体的な支援のあり方について、長崎県東彼杵郡の保育士や教員を対象とした研修会において講話を行なった。	長崎慈光園子供発達支援センターあすなろ
令和3年11月23日	日本 LD 学会が作成した発達障害幼児児童の心理的擬似体験セットの講師養成セミナーにおいて講師を行なった。	日本 LD 学会
令和3年11月26日	スクールサポート業務を通じて明らかになった生徒の特徴と、今後の支援のあり方について、ルーテル中学高校の教員を対象とした研修会で実態報告と提言を行なった。	ルーテル中学・高等学校
令和3年11月29日	発達障害児童へのアセスメントのあり方について、通級指導教室及び巡回相談担当者に対して講	東京都荒川区第4峡田小学校

令和3年12月18日	話を行なった。 眼球運動の評価のあり方と適切なビジョントレーニングについて、特別支援教育士有資格者に対する講話を行なった。	特別支援教育士宮城支部
令和3年12月18日	発達障害幼児児童の理解と効果的な指導のあり方について、放課後等ディサービスと児童発達支援事業従事者に対する講話を行なった。	NPO 法人チャイルド
令和3年12月26日	通常の園に在籍する幼児の行動の理解と保育士にできる支援のあり方について、保育士を対象とした研修会で講話を行なった。	星のおか保育園他
令和4年1月25日	通級指導における児童生徒への対応に関する事例検討会において指導助言を行なった。	熊本市教育委員会
令和4年2月1日	通常学級における発達障害のある児童生徒に対する指導のあり方について、校内研修会で教員対象に講話を行なった。	東京都荒川区第4峡田小学校
令和4年2月14日	小中学校における、校内支援体制の構築を中心とした、特別支援教育全般に関する講話を、学校長の研修会において行なった。	宇城市校長会
令和4年2月19日	眼球運動の評価のあり方と適切なビジョントレーニングについて、福島県の教師や保育士に対して講話を行なった。	福島県会津若松発達支援研修会
令和4年2月20日	発達障害児・者の困難さについての心理的擬似体験ワークショップを、作業療法士の学会において担当した。	長崎作業療法学会
令和4年2月22日	読み書きの困難さに対する家庭でできる支援のあり方について、通級指導教室を利用している保護者に対する研修会において講話を行なった。	熊本市立黒髪小学校
令和4年3月2日	発達障害者の理解とアセスメントのあり方について、熊本市内の教育相談担当者に対して講話を行なった。	熊本市教育委員会
3 社会的表彰 令和4年3月17日	教育実践奨励賞	九州ルーテル学院大学